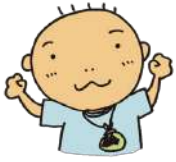


しまね金融広報だより



島根県金融広報委員会(事務局:日本銀行松江支店)は、「広めようお金の知恵～生きる力、自立する力を高めるために～」を2021年度の活動テーマに掲げ、「金融知識の普及」と「金銭・金融教育の推進」を目的に活動を行いました。1年間の主な取り組み等を紹介します。



ごあいさつ



島根県金融広報委員会 会長 谷本 英行
(日本銀行松江支店長)

私たちの暮らしとお金は密接に関わっています。人生100年時代を迎え、将来に向けた生活設計・資産形成や、自分の成長のための「自己投資」に高い関心が寄せられています。日々の買物でもキャッシュレス化が進んで、便利さを感じる一方で、お金の使い過ぎに注意が必要といった声が聞かれるほか、特殊詐欺などの金融トラブルも発生しています。2022年4月からは「成年年齢」が18歳に引き下げられ、高校生も自立した大人として、商品購入の契約の際などにも判断と責任を問われるようになります。まさに暮らしのいろいろな場面で、お金と賢く付き合っていくことが求められています。

こうしたなか、私たち一人一人が、お金に関する正しい知識を習得し、的確な判断を行う能力、すなわち、「金融リテラシー」を身に付けることがこれまで以上に大切です。必要となる知識や能力は金融経済を巡る環境の変化に応じて変わっていきます。それらの知識や能力を、一生を通して様々な場で学びながら、実経験を通じて深めていくという、積み重ねが重要となります。

島根県金融広報委員会では、地域の自治体や学校・教育関係、金融機関、マスコミなど多くの関係者のご協力を得て、中立・公正な立場から、「金融知識の普及」と「金銭・金融教育の推進」に取り組んでいます。今後とも、県民の皆様と子ども達の明るい未来の実現に向けて、工夫をしながら活動を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

島根県金融広報委員会は、日本銀行松江支店に事務局を置き、島根県をはじめとする地方公共団体や財務省、金融庁などの関係機関、金融経済団体などから構成される組織です。当委員会は、昭和25年の設立以降、中立・公正な立場から、金銭・金融教育について時代の要請に応じた活動を行っています。



2022年3月発行

発行:島根県金融広報委員会事務局

〒690-8553 松江市母衣町55-3(日本銀行松江支店内)

TEL 0852-32-1509 FAX 0852-32-2042

<https://www3.boj.or.jp/matsue/kinkoui/kinkoui.html>

金融知識の普及活動

～広く県民の皆さまを対象に、
金融知識の普及活動を行っています～

1 「くらしとおかね講演会」(2021年10月17日、島根県民会館)

ファイナンシャルプランナー・経済コラムニスト 大江 英樹氏による講演会

「老後貧乏にならないためのシンプルなルール」



講演会では、家計の収支を見える化し生活に必要なお金を知っておくこと、年金の仕組みについて知っておくことにより、老後の不安が解消され、無理に節約しなくても心に余裕のある豊かな生活を送ることができると教えて頂きました。

なお、新型コロナウイルスの感染対策のため、定員を100名に絞って開催しました。



2 「金銭・金融教育講演会」in 研究校 (オンライン開催)

コロナ禍にあってもオンラインにより講演会を開催することで、著名な講師から学びの多いお話を聴くことができました。

●株式会社D研究所 所長 加賀屋 克美氏 in 島根県立出雲商業高等学校(11月2日)

ご自身のディズニーランドで働いた実体験やエピソードを交えながら、働くことの意義について、大変分かりやすく教えて下さいました。

出雲商業高等学校の生徒からは、「出商デパート*のお客様、取引先、全ての方が幸せになれるようなデパートにしたい」との感想を頂きました。

*生徒たちが地元企業と提携して開発した菓子や新鮮な野菜などを販売する実習イベント



●生活経済ジャーナリスト いちのせ かつみ氏 in 吉賀町立柿木小学校(1月24日)

お金の本当の価値や賢い使い方について、とても優しく丁寧に教えて頂きました。

また、同時に配信していた保護者に向けても、子供の個性を生かしながら家庭で出来る金銭教育について教えて頂きました。

講演会終了後、地域の方々や吉賀町の小学生の皆さんに、当日の動画を限定配信しました。



今年度は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでしたが、例年は以下のようなイベントを開催しています。
「夏休み体験教室～おかねイロイロ探検隊!」(in 日本銀行松江支店)



2019年度開催時の模様:にちぎんの店内見学、お仕事体験(お札の鑑査・鑑定・偽造防止技術)、おこづかいゲームにチャレンジしました。

1 2021年度島根県金銭・金融教育協議会 (2022年2月10日)

島根県金融広報委員会では、金銭・金融教育に対する理解を深め、学校における金銭・金融教育を推進して頂くことを目的に、金銭・金融教育協議会を毎年開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、島根県内各地の小・中・高等学校の教員や教育関係者の方々にオンライン形式でご参加頂きました。

- 基調講演では、山梨学院小学校 鈴木崇先生により「市場体験型シミュレーションゲーム『Market Game』の開発と実践」と題し、学校でできる金融教育の具体的な実践例や、金融教育により子ども達がどのような力を身につけることができるかを丁寧に説明して頂きました。
- 金銭・金融教育研究校2校(島根県立出雲商業高等学校、吉賀町立柿木小学校)が実践発表を行いました。



協議会の模様(事務局:日本銀行松江支店)

研究校の実践発表より

●島根県立出雲商業高等学校 (1年目)

今年で16回目となる「出商デパート」を今年度も開催しました。コロナ禍での開催であったことから、事前予約制を導入するなど感染対策を行った上での開催となりました。事前予約の状況により、お客様のニーズを把握し、その結果をもとに仕入商品、数量を決めることで、見込みの売上・利益を算出することができました。また、当日はPOSレジアプリを導入することで、いつ、何が、何個、売れたのかを把握することができました。

生徒からは、「日頃から『報・連・相』が大切だと感じた。」「生産者、卸売業、小売業など様々な立場の人がいることが理解できた。」「商品やサービスを提供する上で、商品知識やビジネスマナーの大切さや、人の気持ちを考えて行動することの大切さに改めて気付いた。」といった感想が聞かれ、生徒の成長が伺える結果となりました。



●吉賀町立柿木小学校 (2年目)

自分の考えを持ち、自ら実行する主体性のある子供の育成に向けて、「Make the Xmasツリー」というイベントを行いました。これは、班毎にサンタを迎えるための目印となる素敵なクリスマスツリーを作ることを目指して、まず学校内に開かれる9つのお店で使えるポイント(かきPay)を集めるところから始まります。子供たちは、読書や自学、カメムシの捕獲などを行うことでポイントを集めます。このポイントを使って、班毎にお店を回り、お店でのミッションをクリアして、欲しいオーナメントを集め、クリスマスツリーの飾り付けを行いました。こうした学習を通して、勤労等の対価としてポイントを得ること、そのポイントを使って消費する喜びや残高の管理、お互いの意見を尊重することなどを自然と身に付けることができました。



このほか、証券会社の方や金融広報アドバイザーによる出前講座などを行い、2年間の研究を通して、金銭や物に対する健全な価値観を養うことができました。

銭・金融教育の支援を行っています～

2 金融広報アドバイザーによる出前講座を開催しました

島根県金融広報委員会では、お金の専門家に「金融広報アドバイザー※」を委嘱し、県内各校に派遣することで、授業のお手伝いをしています。今年度はコロナ禍の中でも約40先の小、中、高等学校向けに出前講座を行いました。

特に今年度は、2022年4月からの成年年齢の引き下げを踏まえ、高校卒業と同時に社会に飛び立つ生徒の皆さんが金融トラブル等に巻き込まれないよう、一人暮らしの生活費や契約・クレジットカードのトラブル回避に関する講座(巣立ち教室)に対して多くの依頼を頂きました。

金融広報アドバイザーの方々は、豊富な知識や経験を基に分かりやすく話して頂けますので、ぜひご利用下さい(無料)。

●高等学校向け

- 「成年年齢の引き下げを踏まえた、契約とクレジットカードのトラブル回避について」など



- 「18歳までに知っておきたいお金の話」
- 「一人暮らしの生活費」など



※金融広報アドバイザーとは…金融・経済や年金、保険、生活設計、消費者問題などの分野で活躍している専門家です。

今年度は、新たな試みとして、オンラインでの授業も行いました



●小学校向け

- 「目指そう買い物名人～修学旅行の買い物を模擬体験してみよう～」



- 「カレー作りゲームに挑戦しよう!～限られたお金でカレーの具材をえらんでみよう～」



- 「おこづかいゲームに挑戦しよう!～かしこい消費者になるために～」



●先生のための金銭・金融教育セミナー

- 上記のほか、各地の家庭科教育研究会に金融広報アドバイザーを派遣し、対応できる出前講座の具体的な内容や、実践内容が記載された冊子の内容を紹介しました。

私たち金融広報アドバイザーがお伺いします!

氏名	資格
池原 元樹	ファイナンシャルプランナー
内田 浩二	ファイナンシャルプランナー
遠藤 紀子	消費生活相談員、元高校教員
加藤 範子	ファイナンシャルプランナー、消費生活アドバイザー
野々村 千映子	ファイナンシャルプランナー、元小学校教員
細川 豪	ファイナンシャルプランナー

おかねに関する講演会や出前講座に無料で講師を派遣します



2022.3月現在 五十音順

2021年度金融知識普及功績者として、金融広報アドバイザーの細川豪さんが受賞され、金融担当大臣および日本銀行総裁の連名による表彰状が授与されました。

— これまでも同表彰を複数人が受賞するなど、皆さん熱心に活動を続けて頂いています。

出前講座テーマ一覧 金融知識豊富な講師を派遣します<無料>

島根県金融広報委員会では、学校での授業や教員向けの研修会、PTA総会、親子活動、参観日、講習会、公民館などでの勉強会に、専門的な知識を持つ金融広報アドバイザーなどの講師を無料で派遣しています。

★金融広報アドバイザーは各都道府県金融広報委員会が選定し、金融広報中央委員会が委嘱しています。
※資産運用や金融トラブルの処理に関する個人の相談に応じることはできません。

テーマ① 金銭・金融教育

親子活動、PTA向け講演会向け

- おこづかいゲームやクイズに挑戦しよう!
- 子どもとのお金の話をしましょう
- 生きる力を育む家庭でできる金銭教育のすすめ
- 社会人になるために～税金とは・社会保険とは～

小学校向け



- 「じょうずに使おう物やお金」<家庭科5年生単元>
- 私たちの生活とお金
- 「カレーづくりゲーム」に挑戦しよう!
- 目指そう買い物名人～修学旅行の買い物を模擬体験してみよう～

中学校向け

- 私の命を育んだお金はいくら?
- 私たちの生活と企業 <社会科公民>
- 将来の職業選びのために～夢を叶えた私の選択～
- 将来の生活設計と身の回りのお金について

高等学校向け『巣立ち教室』

- テーマ① ひとり暮らしの生活費
 - 学生・社会人の生活費
 - 学費と奨学金について (PTA向けでも可)
- テーマ② カード社会におけるクレジットカードの使い方、仕組み
- テーマ③ 契約とは、自己責任とは
- テーマ④ 消費者トラブルに巻き込まれないために

テーマ② 生活設計・家計管理

- 自分で見つける! 我が家の家計のベストバランス
- 60代から始める人生設計～自分らしく暮らすために～
- 終活のためのエンディングノート
- 年金は賢く使おう～計画見直しで充実年金生活～
- 贈与・相続について

テーマ③ 消費者問題

- 気をつけよう! 最近の消費者トラブル～事例と対策～
- 賢い消費者になるために～契約の基本～、～お金の基礎知識～

テーマ④ 金融経済

- 金融商品の基礎知識と選び方
- 私たちを取り巻く金融経済の動き
- 仕事と経済のしくみを知ってお金の働きを考えよう

- 実施時期：随時(平日・休日を問いません)
- 実施時間：1回あたり60～90分程度(連続講座も可)
- 参加者：原則10名以上のグループ
- お申込み時期：原則として開催日の1カ月前まで
- 費用：無料(当委員会が負担)ただし、会場は主催者でご用意下さい

まずは、お気軽に
お電話ください



島根県金融広報委員会(事務局:日本銀行松江支店)

〒690-8553 松江市母衣町55-3 TEL:0852-32-1509 FAX:0852-32-2042

<https://www3.boj.or.jp/matsue/kinkoui/kinkoui.html>

↑↑当委員会のホームページでもご覧いただけます↑↑

※資料を無料で提供します。刊行物の一覧は金融広報委員会のホームページでもご覧頂けるほか、直接請求することもできます。

知るぽると

検索

<https://www.shiruporuto.jp/>



講師派遣依頼書

知るぽると
島根県金融広報委員会

(コピーしてお使いください)

- ※本依頼書にご記入いただき、FAXまたは郵送でお申込みください。
- ※ご提供いただいた個人情報は、講師派遣に関する事務以外に使用することはありません。
- ※講座終了後には、「実施報告書」のご提出をお願いしています。

年 月 日

島根県金融広報委員会事務局 宛

〒690-8553

松江市母衣町55-3

日本銀行松江支店内

TEL: 0852-32-1509

FAX: 0852-32-2042

【依頼者】

住所 〒 -

学校名・ご担当者名

TEL. - -

FAX. - -

メールアドレス.

日 時	年 月 日 () : ~ :
場 所	会場名 /
	住 所 / 〒 -
	T E L / - -
	最寄駅〈バス停〉 /
対 象 者	名 (学年)
テ ー マ	(できるだけ詳しくご記入ください)
資料送付先	(依頼者住所または会場など)
準 備 機 器	(準備が可能な機器を、○で囲んで下さい) パソコン / プロジェクター / スクリーン / マイク / ホワイトボード / レジューメ印刷
そ の 他	

